

令和8年6月1日(月)
神西地区災害対策委員会
神西コミュニティセンター

いずもりよく

災害・防災安全について

1

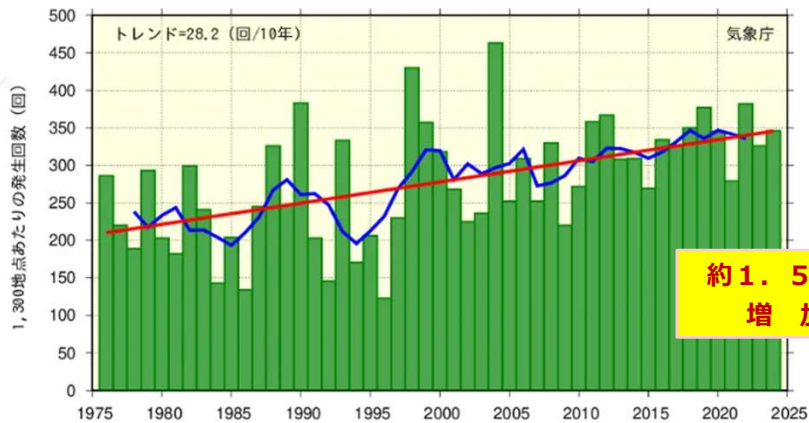
出雲市防災安全課
杉谷 俊介

2

近年の気象状況(全国的な傾向)

★全国の1時間降水量50mm以上の年間発生回数

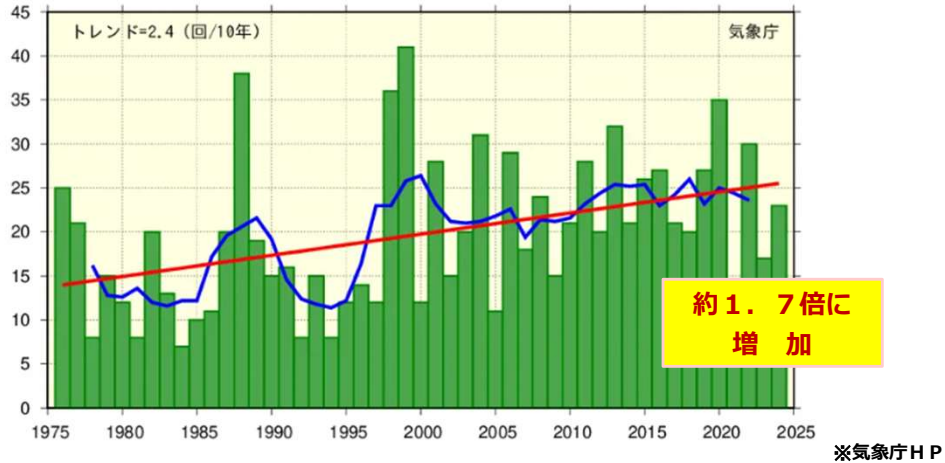
最近の10年間(2015-2024) 平均年間発生回数 約334回
統計最初の10年間(1976-1985) 平均年間発生回数 約226回



3

★全国の1時間降水量80mm以上の年間発生回数

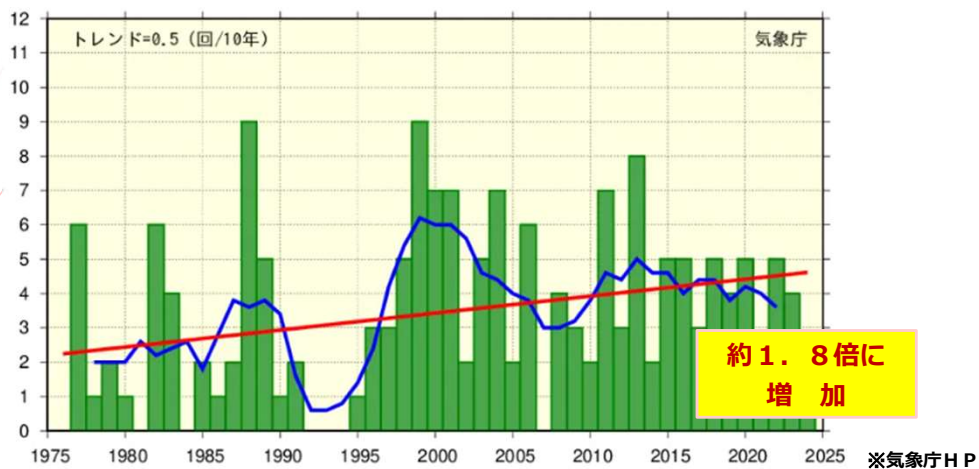
最近の10年間(2015-2024) 平均年間発生回数 約24回
統計最初の10年間(1976-1985) 平均年間発生回数 約14回



4

★全国の1時間降水量100mm以上の年間発生回数

最近の10年間(2015-2024) 平均年間発生回数 約4.0回
統計最初の10年間(1976-1985) 平均年間発生回数 約2.2回



5

神西地区の地域特性①

- ★神西湖を中心とした「汽水湖」の地形
出雲市西部を代表し、日本海とつながっている汽水湖である。
- ★平野部と低湿地が広がる
斐伊川や神戸川によって長い年月をかけて形成された沖積平野である。
→平坦な土地が多く水田に適した地形である一方洪水や浸水への注意が必要。
- ★南側には丘陵地・山地がある
「神西城跡」がある高倉山周辺で、標高100m前後の丘陵が続いている。
- ★日本海に近い地形
海の影響を受けやすい地形
→冬は季節風を受けやすい、潮位や高潮の影響がある。

「多種多様な災害の可能性!」

6

神西地区の地域特性②

- ★人口（令和8年4月末現在）
1,506世帯 3,471人
その内、65歳以上は1,139人（全体の32.8%）
- ★指定避難所
4カ所（神西小、神西コミセン、東神西コミュニティセンター、出雲養護学校）
収容能力はない（収容人数430人）
4カ所のうち3カ所は浸水想定区域内に立地
- ★避難プラン
作成率：3%（市全体約39%）
神西地区独自の避難計画がある（作成率：不明）

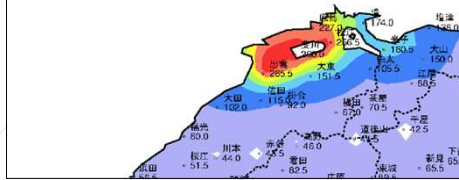
「早めの判断・避難が重要!!」

令和6年7月9日からの気象状況

○雨の状況(7月9日03時~7月11日04時)

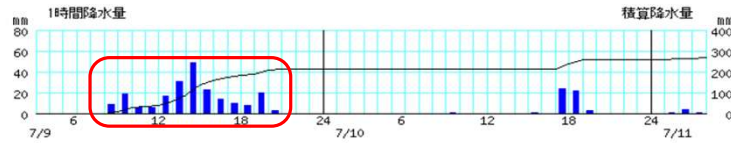
(松江地方気象台資料から抜粋)

【アメダス期間降水量】

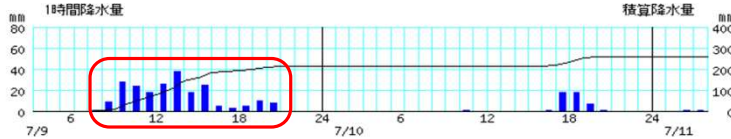


地点名(ヨミ)	市町村名	合計(mm)
出雲(イズモ)	出雲市	265.5
斐川(ヒカワ)	出雲市	260.0
松江(マツエ)	松江市	256.5
鹿島(カシマ)	松江市	227.0
大東(ダイトウ)	雲南市	151.5
波佐(ハサ)	浜田市	121.5
佐田(サタ)	出雲市	115.0
伯太(ハクタイ)	安来市	105.5
大田(オオタ)	大田市	102.0
津和野(ツワノ)	鹿足郡津和野町	101.0
弥栄(ヤサカ)	浜田市	101.0

〔出雲〕



〔斐川〕



令和6年7月9日からの大雨に伴う神西地区の状況について

○雨の状況(7月9日03時~7月11日04時)

出雲:総雨量265.5ミリ

9日 9時56分 大雨警報(浸水害) 発表

15時02分 土砂災害警戒情報 発表
~解除~

10日 7時45分 大雨警報(土砂災害) 発表

16時45分 土砂災害警戒情報 発表

18時00分 神西地区に避難指示 発令

○被害状況

- ・道路の冠水が数カ所発生
- ・鍛冶屋川(引舟)の越水
- ・内水氾濫の発生
- ・林道の法面崩壊

時間	内容	備考
7月10日 18時00分	神西地区災害対策本部の設置	
18時35分	・神西地区公式LINEにより災害対策本部設置の周知、要支援者の安否確認を依頼 ・防災行政無線により周知	
19時30分	災害対策本部 解散	・避難者なし ・人的被害なし

9

○被害状況写真①



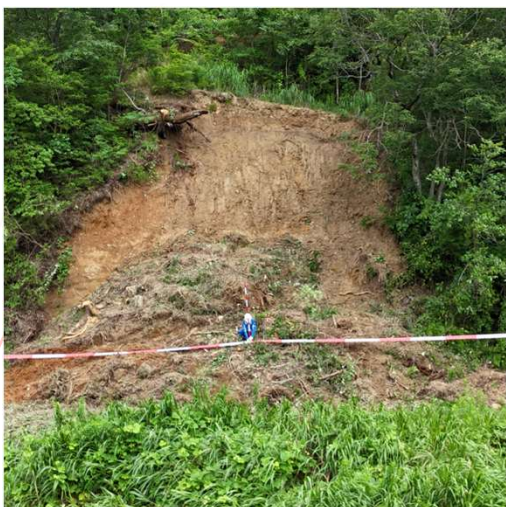
市道の冠水(塩冶町)



アンダーパスの浸水(斐川町直江)

10

○被害状況写真②



林道の法面崩壊(東神西町)



住家裏山崩れ(湖陵町)

11

○道路崩落の状況



県道大社日御碕線の崩落(大社町日御碕):島根ドローンサービスセンター提供写真)

12

令和6年に発生した大規模地震の状況(震度5強以上)

発生時刻	震源地	マグニチュード	最大震度
8月 8日 16時43分頃	日向灘(宮崎の東南東30km付近)	M7.1	6弱
6月 3日 06時31分頃	石川県能登地方	M6.0	5強
4月 17日 23時14分頃	豊後水道	M6.6	6弱
1月 6日 23時20分頃	能登半島沖	M4.3	6弱
1月 6日 05時26分頃	石川県能登地方	M5.4	5強
1月 3日 10時54分頃	石川県能登地方	M5.6	5強
1月 3日 02時21分頃	石川県能登地方	M4.9	5強
1月 2日 17時13分頃	能登半島沖	M4.6	5強
1月 1日 16時56分頃	石川県能登地方	M5.7	5強
1月 1日 16時18分頃	石川県能登地方	M6.1	5強
1月 1日 16時10分頃	石川県能登地方	M7.6	7
1月 1日 16時06分頃	石川県能登地方	M5.7	5強

令和7年に発生した大規模地震の状況（震度5強以上）

13

発生時刻	震源地	マグニチュード	最大震度
12月 8日 23時15分頃	青森県東方沖	M7.5	6強
11月25日 18時01分頃	熊本県阿蘇地方	M5.8	5強
7月 6日 14時07分頃	トカラ列島近海	M5.5	5強
7月 6日 14時01分頃	トカラ列島近海	M4.9	5強
7月 5日 06時29分頃	トカラ列島近海	M5.4	5強
7月 3日 16時13分頃	トカラ列島近海	M5.5	6弱

令和8年に発生した大規模地震の状況（震度5強以上）

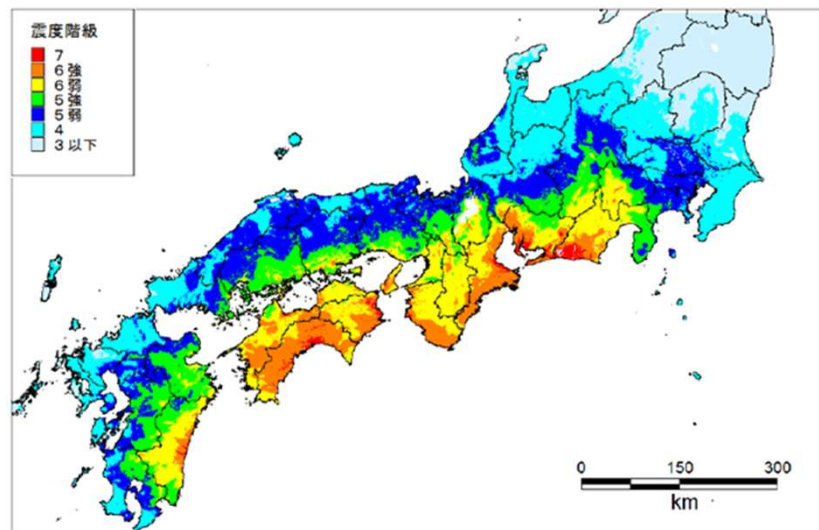
発生時刻	震源地	マグニチュード	最大震度
4月27日 5時24分頃	十勝地方南部	M6.1	5強
4月20日 16時53分頃	三陸沖	M7.4	5強
1月 6日 10時18分頃	島根県東部	M6.4	5強

※出雲市の最大震度は「震度4」、松江市・安来市で「震度5強」を観測

南海トラフ地震で想定される震度

14

南海トラフ巨大地震の震度分布【気象庁】
 （強振動生成域を陸側寄りに設定した場合）

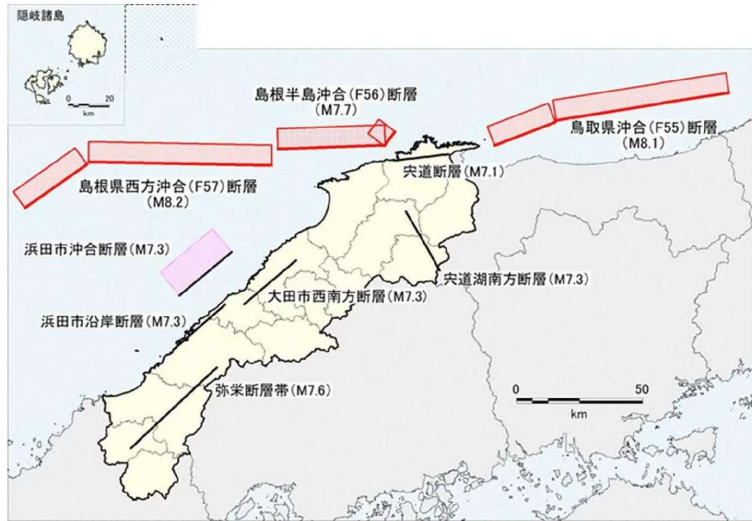


島根県地震・津波被害想定

島根県が平成30年3月に調査報告書を作成、公開(島根県HPで公開中)

陸域の地震

(地震動の想定に用いた断層の位置図)
＜海域の地震で地震動も想定した地震の断層も合わせて図示＞



【参考】R8.1.9 山陰中央新報 島根県東部地震=「布部断層」=想定外の活断層

未知の活断層「まだある」

島根大・向吉准教授



山陰同様の活断層について検討する島根大地学工
学部 向吉准教授 松江 西川 津町、島根大

活断層は、数十年前以降に地震が繰り返し、地層がずれ、このように形成される。向吉准教授は「山陰は太古に大規模な地震の発生がなかったとあり、活断層が再びくびくとわられてきた。すなわち断層が未成熟である」と指摘する。

島根県東部の鳥取県西部は中国5県の中でも地震活動が特に活発な5県を区分し、1710年に鳥取中部で発生した地震がこれまでに記録が残っている。M2.0～5.5以上の地震の回数と比較すると、活断層が多い鳥取県西部

向吉准教授は「断層の西側で、北西から南東に伸びる未知の断層とみられる震源域の余震が起きている」と指摘。鳥取県西部地震の発生から2日後、奥出雲町でM5.5程度の地震が起きている。地震発生より他の断層

島根・鳥取地震

今回の地震で大きく揺れた鳥取県東部と鳥取県西部を含む地域は、見つかっていない活断層の少ない地域に対し、大規模な地震が多発している。震源をみられる来市広瀬町の「布部断層」も注目されている。島根大総合理工学部の向吉准教授(構造地震学)は「他にも未知の活断層があるとして、今後大規模地震が起きる可能性を指摘する」。

(取材) 11月10日撮影

「いつどこで巨大地震があってもおかしくない」ことを意味している

災害への備えはできていますか？

“知る

- 自分の身の回りに、どんな災害のリスクがあるか理解していますか？
土砂崩れのリスク、川の氾濫のリスク、地震時の倒壊のリスク など

“備える

- 災害時の持出品や食料などの物資を準備していますか？
- 家族や親戚の非常時連絡先など確認していますか？
災害時には携帯電話がつながりにくくなるケースもあります
- もしもの場合の避難先を決めていますか？
指定避難所だけが避難先ではありません
避難経路に危ない場所がないか日頃から確認しておきましょう！

“行動する

- 危険を感じたら迷わず行動しましょう
正しい情報をもとに、正しい行動をとることが大切です



知る

